

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-クレゾールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

NMMP/E09/4040

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質	: p-クレゾール
方式	: 半止水式 (24時間毎に換水)
供試生物	: ヒメダカ (<i>Oryzias latipes</i>)
試験濃度	: 対照区、2.6 mg/L、4.8 mg/L、8.6 mg/L、15.4 mg/L、27.8 mg/L および50.0mg/L (設定濃度)
暴露期間	: 96 時間
試験液量	: 3.0L
生物数	: 10 尾/濃度区
照明	: 室内光、16 時間明/8 時間暗
エアレーション	: なし
温度	: 24±1℃

結 果

試験の結果、p-クレゾールの設定濃度に基づく 96 時間の半数致死濃度 (LC50) は 13.8mg/L であり、その 95%信頼区間は10.3mg/L～18.4mg/Lであった。